



くさぶえ 第74号

令和4年 9月発行

<目次>

- | | |
|--------------|------------|
| 1P 加藤会長挨拶 | 4P 全国の会の動き |
| 2P、3P 座談会 報告 | 県の会の予定他 |

「ちょっと」新しい親の会を一緒に

千葉県ことばを育てる会会長 加藤志恵



ことば・きこえの教室にお子さんが通われているみなさん、他の保護者やことばの先生と十分に交流は出来ていますか？ with コロナ時代の到来で各地の親の会の活動が停滞して約3年目。当時から通う子どもは教室を終了し、役員経験者は去り、ことばの先生は変わり、親同士のつながりも希薄になっていませんか。親の会のこれまでの活動を良く知らないと言う方が決して少なくないのが現実かもしれません。

私たちにとって身近な存在「ことば・きこえの教室」は、私たち親の会が、保護者から保護者へとつないできた57年間の活動の上にあります。今でも、私たちは毎年、ことばの教室の充実や中学へのことばの教室の設置など、県教育委員会へ様々な要望を伝える活動を続けています。

今年度は「まずは出来る事からやってみよう」「うまくいかなかったらドンドン変えていこう」と新しい挑戦を「ちょっと」始めました。会員と会を直接つなぐ公式LINEを新たに開始しました。親子ふれあい学習会を3年ぶりに開催予定。対面参加とZOOM参加を併用して6月16日、総会を開催したのもその1つです。

会員のみなさんも一緒に「ちょっと」子どものためにやってみませんか？ 公式LINEの登録？ ことばの先生と立ち話してみる？ 保護者交流会（茶話会）をやってみる？ 講演会や親子ふれあい学習（レク）に参加する？ あなたの「ちょっと」を一緒に。





回答者 宮本 紀子
元ことばの教室担当教諭
当会事務局長
NPO法人全国ことばを育む会副理事長

ことばの教室 親の会って？



新人役員2人が普段から気になっていたことを、元ことばの先生に聞いてみました。2時間に渡る内容を話し言葉のまま、コンパクトにまとめました。
このQ&Aの内容は参加者の体験や経験を記事にしています。各地域や学校で若干の違いがありますので、ご自身の地域の役員さんや先生にお尋ねください。

Q1 ことばの教室はどんな子が通っていますか？

宮本： おしゃべりを含めて人と関わって楽しむのがコミュニケーション。コミュニケーションに人とズレている所があると、その人にはことばの教室が必要となるの。コミュニケーションに特化した教室がことばの教室であって、ただスピーチだけではないのよ。

クラス担任は、学級全体のコミュニケーションは見てくれているけれど、1人1人に特化したコミュニケーションはなかなか見てもらえない。だからその子にあった段階のコミュニケーションの指導をするの。

小学校のことばの教室では子どもの家庭や心理の問題解決もやっている。だから、ことばの先生には心理学も必要。スクールカウンセラーの先生と同じような素養も持っていなくちゃいけない。それが、ことばの担任力かな。

1番多いのが発音に問題のある構音障害。次が言語発達の問題の子でココには凄く色々なことが含まれている。私は「言語発達が特別なタイプの子」ととらえている。その子のスペシャルをみんなが認め、その子にあった特別なことをするから個別指導が必要で、学校内で個別指導が堂々と時間を取って出来るのがことばの教室。

Q2 組織のしくみ、会費の使い方？

宮本： 各学校の親の会が市内数校で集まって市親の会になる。市親の会が横の連絡や話し合いをすると、そこでお金を使うことになる。行事をすると材料費とか。山武、長生、夷隅は市が集まって郡市に。更に集まったら県。県になると規模が大きいためから交通費がかかる。他に、印刷物を配布するにも材料費や送料がかかる。いつもの会議では無料の会場を使っているけれど、講演会とかでは有料の会場を借りる。私たち役員報酬は無しだけど、水間さん、三枝さん、一緒に頑張ろうね。必要経費は会費の中から大切にに使わせてもらいましょう。会費の一部は全国ことばを育む会に納めている。

～新役員（質問者）の紹介～

水間 翠



以前、山武郡市代表として県の総会や理事会など参加して色々な情報を教えて頂きとても助かりました♪今度は私も県の一役員となり、色々な方に色々な事を知っていただきたいです。

三枝 明美



「ことばの教室」の事をもっと勉強したいです。中学進学を控えている息子の母として息子に有効な支援に関する情報収集もしたいです。会計の仕事も早く覚えたいです。

Q&A

Q3 先生との付き合い方のコツは？

宮本： 自分の親と先生が楽しそうに話している姿を見せると、子どもも少しずつ馴染んでいくの。馴染んで先生が増えないと子どもは学校が楽しくない。ことばの先生だけでなくクラス担任や保健の先生とか理解してくれる先生を作る。校長先生や教頭先生が理解者だと良いよね。

水間： よくことばの教室に顔を出していた。家での状況、例えば兄弟喧嘩して大泣きした、とかお話しした。教室に前触れもなく行ったり、職員室に「先生いらっしゃいますか？」って。すると先生もアドバイスをくれるようになった。すごく良い先生ばかり。

三枝： 小6でことばの先生が変わったけど、私はどちらも話しやすい。息子も楽しそう。引き継ぎが上手くされていたからかな。

Q4 親の会の魅力は？

宮本： 自分の子どもの隠れた良いところが分かるというのが、親の会に入るメリットだと私は思っている。自分で動くことが、子どものために良いことだと分かるのも親の会に入るメリットだと思う。

親の会はみんなで心配を分け合う所。心配している人がいたら「うちの子はこうだったから大丈夫だよ」と教えてあげる。親同士の横のつながりを作ることができるのが親の会。お母さんたちが子どもを連れて集まって来たらよその子を見るでしょ。見比べてはいけないと言うけど、見比べて良いんですよ。ガッカリしたり、優越感を持ちちゃダメ。よそのお母さんが上手に子どもと関わっているのを見たら「うちもあんな風に関わってあげようかな」って勉強する会なんです。

集団親子遊びなんだよね、私たち親の会がやっている親子レクは。親が計画してやるのが親の会の大事な所。自分の友だちを集めてやっているとお初めから同調できる人しかいないから勉強になることが少ないの。たまには全然知らない親と会うと面白いよ。

水間： 確かに。郡市の取り組みは、色々な方の話が聞けて楽しかった。
宮本、水間、三枝： ありがとうございます。



◆◆ 親の会の誕生秘話 ◆◆

もう60年前の話。市川市の小学校で大熊喜代松先生が、聞く話すが出来ない子どものために国語治療教室を始めました。大熊先生が異動で千葉市の大森小学校へ移ってからも続けたことで、言語治療教室として国に認められ、千葉市の院内小学校で始まりました。それが昭和35年。

当時、大森小学校に通っていたシンちゃんの親が大熊先生に「来年もこの子はココに通えるんでしょうか」「それは分からないんだよ。この教室は私がわがまま言ってやらせてもらっているだけで、正式に認められた教室ではないから」と大熊先生に言われ、それは大変だ、と千葉県へ陳情に行ったそうです。学校の先生は役所に雇われている公務員だから陳情できないんです。そのため、親たちが陳情しました。

全国では当時、教室があったのは宮城県の仙台市と千葉市だけ。銚子から来る人たちは片道2時間半かけ

て千葉市まで来ていました。お母さんたちが運動して、40年に松戸、銚子、館山、と出来ていきました。41年は茂原、東金、42年は船橋、木更津、成田、佐原、大原に。どこも地方の拠点になる所です（市川市は昭和39年に設置）。

院内小学校の親の会の人たちが全国の親の会を立ち上げ、千葉県が手薄になりました。そこで昭和40年、県内の親たちが協力して千葉県の親の会を作りました。

千葉県の親の会がまず始めたのは、親子レクとかではなく「子どものために悩んでいる親の気持ちを救わなくちゃ」と言うこと。その次に、通いやすい場所に子どもたちの教室を作ること。それが県内にことばの教室が増えていった運動の始まりでした。

今、千葉県には300教室近くもことばの教室があるけれど、親の会が頑張ったからこんなに出来たんですよ。この事実をずっと伝えていくことが大事だと思います。

文部科学省・厚生労働省へ令和5年度予算編成に向けて要望書提出

NPO 法人全国ことばを育む会の動き

NPO 法人全国ことばを育む会が加盟している全国特別支援教育推進連盟では、加盟団体の要望をとりまとめ、文部科学省と厚生労働省に要望書を提出しています。令和5年度予算編成に向けての要望書提出は今年7月4日に行われました。文部科学省では、加盟団体から各1名、3分間ずつ説明できるように取り計らっていただきました。NPO 法人全国ことばを育む会から今岡理事長が参加し、通級による指導に必要なだけの教員の配置と、それを「教員定数法」による配置にして早急に達成できるようにしてほしいこと、そして「教員定数法」による教員配置の進捗状況を何らかの形で示してほしいとお願いしました。



一番手前が今岡理事長

今岡理事長によると、この説明の順番は最後で、ほかの団体がいろいろと言い尽くしたあとだったので、ほかの団体から出てこなかったことを話したとのことでした。他団体から特別支援教育の教員養成や専門性の向上のための予算増額などが話題にされたとのことでした。（取材：宮本紀子）

千葉県ことばを育てる会よりお知らせ

6月16日（木）令和4年度総会
会場：ポートプラザちば
3年ぶりの総会は会場参加、ZOOM参加、書面参加等で開催致しました。
ご参加いただいた地区の皆さんありがとうございました。



総会の様子



ZOOM用機材

<会議・行事の予定>

- 9/1 役員会（ZOOM）
- 9/15 理事会（ZOOM）
- 10/6 役員会
- 11月 ※講演会
- 11/5 関東ブロック会議
- 11/10 役員会
- 11/17 理事会
- 11/19 ※親子ふれあい学習会
ドイツ村（ミカン狩り）



※講演会、講師：望戸千恵美先生

（国府台女子学院小学部副学院長
前千葉県特別支援学級・通級指導教室設置校校長会会長）

テーマ：「親のコミュニケーション力」

YouTube 配信予定

★講演会、親子ふれあい学習会については、公式LINE、各地区事務局を通じて詳細を随時お知らせ致します。

★公式LINEの登録はお済ですか？登録者数は増えています。毎月お知らせ等、配信中です！！

～編集後記～

編集担当：広瀬

コロナ禍で私たちは何ができるか？
県の会では、熱い意見の交換をしています。
各地区の会員の皆様の声をお待ちしています。

《事務局》

〒292-0822

千葉県木更津市桜井 1450 宮本方

Tel 090-2666-6843

Fax 0438-36-2605